

親子で楽しむ町内の文化財 ～ パートⅢ ～

「歴史の宝宝箱」播磨町。身近なところに、地域の人びとが大切に受け継いできた貴重な文化財があります。

【問い合わせ】郷土資料館 ☎079(435)5000



播磨町マスコットキャラクター いせきくん、やよいちゃん

4 無量寿院のお地藏さま

今月は無量寿院のお地藏さまを紹介します。

【クイズ】

こちらのお地藏さまは、普通のお地藏さまとは少し姿勢が違います。どこが違いますか。

- ① 腰を少しひねった姿勢
- ② 考えるような姿勢
- ③ 前かがみの姿勢



▲この瞳の奥にはすてきな願いが…



無量寿院の南にある山門を入り、参道に沿って本堂に向かうとき、ふと、右手からおだやかな気配を感じます。なにげなくそちらに目を向けると、お地藏さまが静かにおられます。姿勢は普通のお地藏さまと異なり、右足を台座の上にあげ、左足は台座からおろしています。右手は考えるように右のほほにあて、左手はひざにのせています。広隆寺の弥勒菩薩像のように、半跏趺坐といわれる姿勢です。

こちらのお地藏さまは、江戸時代の一七四六年に、東本庄村の庄屋、梅谷七右衛門清政によってつくられます。そして、ここにつくられた理由は、亡き妻の供養のためといわれています。ただ、梅谷七右衛門清政がなぜこのような姿勢のお地藏さまにしたのかはわかっていません。一般的に半跏趺坐は略式の座禅の姿勢といわれています。そのため、広隆寺の弥勒菩薩像には、親しみやすい中に瞑想的な趣が漂っています。そして、この小さな無量寿院のお地藏さまにもやはり同じ趣が見てとれます。特に目もとは優しく、なにかすてきなことを考えているように感じます。この表情はもしかすると、奥様の面影に似せたのかもしれません。

お地藏さまは江戸時代二五〇年以上の古き姿を誇っています。なにを思われながら人々を見つめてきているのでしょうか。すてきなことが一つでも多く、ここにお参りされる方がありますように願っておられるのかもしれません。

(郷土資料館 館長 田井恭一)

■ クイズの答 ② 考えるような姿勢



町の人口 6月1日現在 (住民基本台帳人口+外国籍人口)
 34,264人 (-16人) 男…16,856人 (-4人) 女…17,408人 (-12人) 世帯数…13,482 (+26)